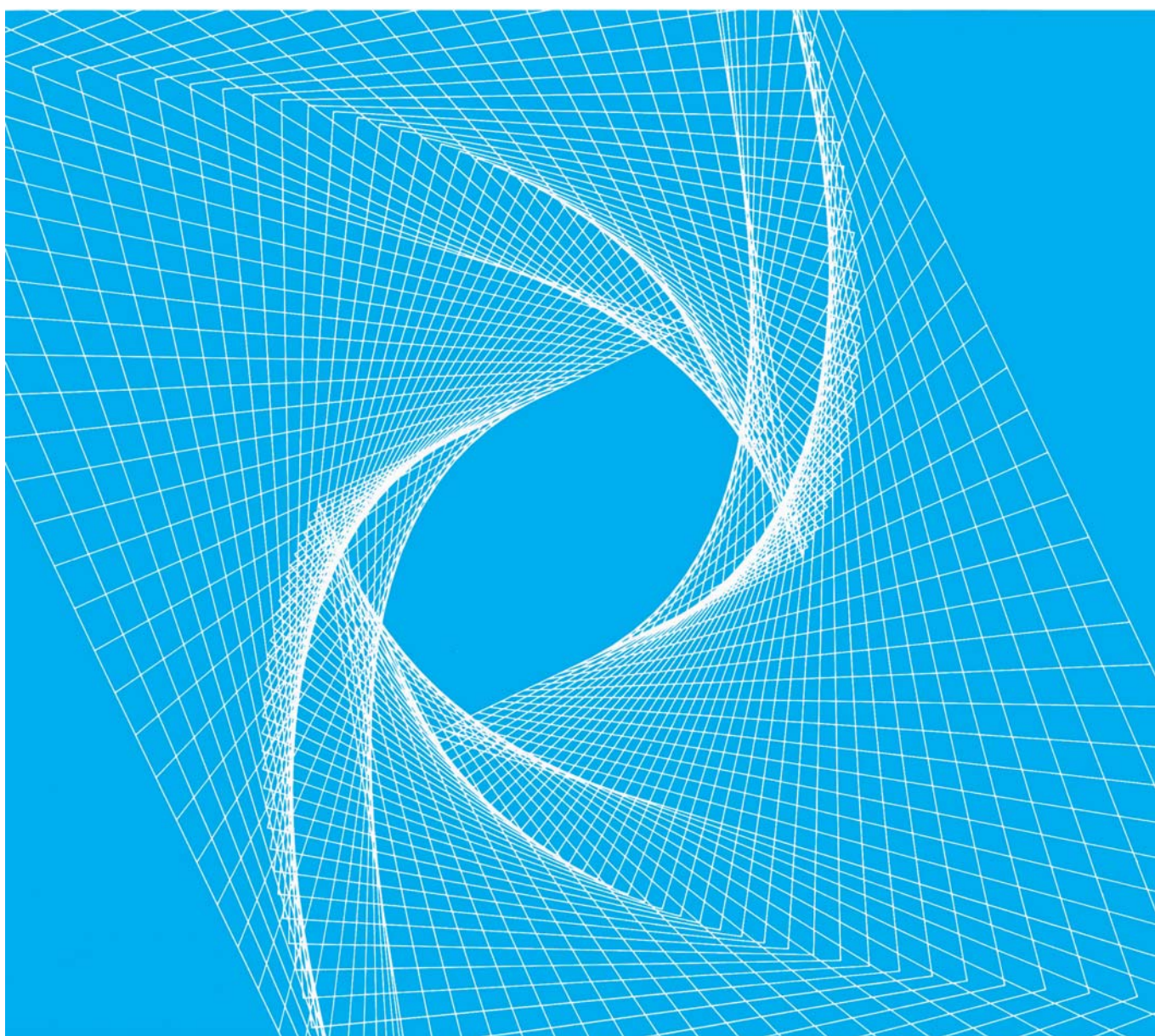


MS 型

特許MS型直読液面計

Hi-Touch & Hi-Tech
SKK



信頼と技術で未来へ

昭和機器工業株式会社

特許MS型直読液面計

特許MS型直読液面計は、給油所やプラント等における安全ならびに在庫管理の合理化と公害・災害予防上の関係当局の意向を基調として開発された製品です。

また、各石油元売会社の全国指定を受け、幅広くご採用いただいております。

長年の実績による高い信頼性と安全性により、業界実績No.1の液面計トップメーカーSKKの製品ですから、安心してご採用いただけます。

特長

- 1 各種サイズ、仕様別の豊富なバリエーションにより、マンホールの取替工事やパイプ切詰工事もほとんどなく、既設タンクの計量口用パイプへ簡単に取付けすることができます。
- 2 全密閉型であり、オーバーフローやベーパー発散の危険性が少なく、災害防止や環境保全に効果を発揮します。また、防水仕様のため、タンクへの水の浸入を防ぐ構造となっています。
- 3 目盛テープはタンク寸法毎に製作され、正確な量を指示します。
- 4 ゲージ機構は精度を保つため、原寸式を採用しており、消防法の規定による1/100以上の精度による在庫管理が可能です。
- 5 計量の時間短縮、計量誤差の減少など、労務管理、在庫管理に威力を発揮します。
- 6 地下タンク内の検水は、検水口プラグを取り外し、同部分から検水棒をタンク内に挿入することにより水位を確認することができます。(SGタイプは除く)
- 7 通常の使用では、フロート流れ防止ガイドは必要ありませんが、特に液面の流れが激しい場合にはフロート流れ防止ガイド(オプション)も製作しています。
- 8 本製品は、耐久性に優れた材質等を採用しており、耐久性は抜群です。

油流出事故を未然に防止!

地下タンクの損傷



検尺棒では異種金属接触によるイオン化傾向現象(電蝕)が介在し、タンク底板を予想外に損傷しています。液面計でタンクを保護しましょう。

タンク上部の漏えい浸透事故



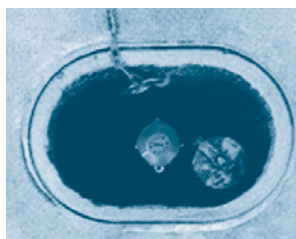
検尺棒による計量は、こぼれた油が少量ずつマンホールを経て地下に浸透しています。タンクの防水被膜を溶かし、また地下水への油の浸透など、環境問題が生じる恐れがあります。毎日の計量は安全で手軽な自動液面計で!

ローリー受入時の事故

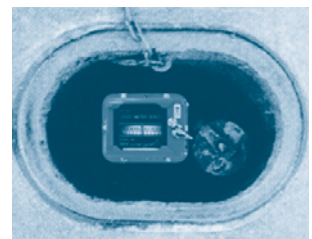


計量口部からのガスの噴出など、手違いによるオーバーフロー事故があつとを絶ちません。計量口を液面計に取り替え、事故を未然に防止しましょう。

設置前



設置後



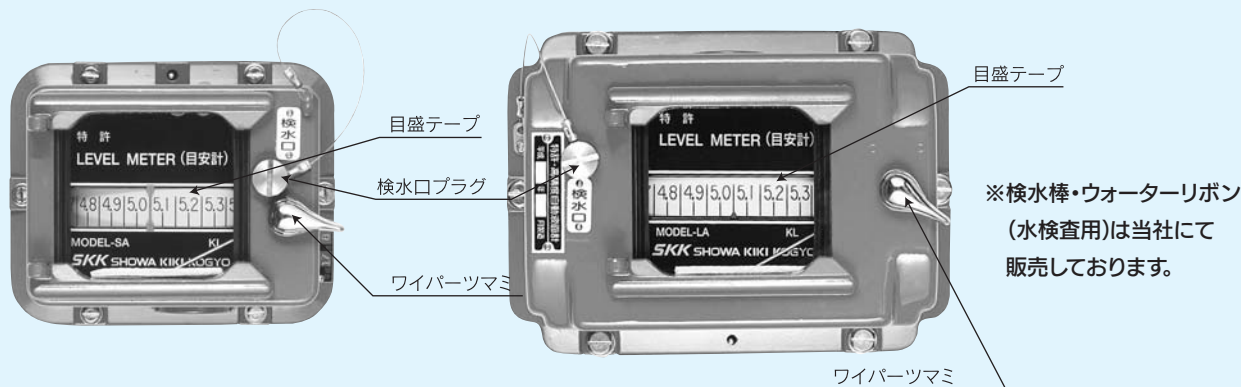
右写真は計量口へ液面計を設置した状態

既設タンクの計量口用パイプへ液面計を取り付ける場合、さまざまな状況が発生します。SKKでは、各種サイズおよび仕様別に豊富なバリエーションをご用意しておりますので、ほとんどのタンクの計量口用パイプへの取り付けが可能です。

各部名称

MS型 SAタイプ

MS型 LAタイプ



各タイプの特長

SAタイプ (標準タイプ/新設・既設タンク用)

既設タンクの計量口用パイプへ簡単に取り付けられます。また、表示窓が大きく、目盛が見やすくなっています。
 ※重油や廃油タンクに設置すると、油が目盛テープに付着して目盛が見えにくくなる場合があります。
 ※重油や廃油タンクには専用のSGタイプをご採用ください。



SCタイプ (小型タイプ/既設タンク用)

小型設計のため、マンホールの取替工事が不要となります。(一部特殊な場合を除く)
 既設計量口の立ち上がりパイプが中央から端の方に寄り、SAタイプ液面計が取り付けできない場合にも対応できます。
 ※重油や廃油タンクに設置すると、油が目盛テープに付着して目盛が見えにくくなる場合があります。
 ※重油や廃油タンクには専用のSGタイプをご採用ください。



SGタイプ (新設・既設タンク用)

重油、廃油タンク専用液面計です。油による目盛テープの汚れを防ぐ構造となっています。
 ※取付フランジねじ込みの関係で、立ち上がりパイプ中心より半径115mm以上の円周スペースが必要となります。







LAタイプ (標準タイプ/新設タンク用)

口径が大きい取付配管に設置するタイプです。表示窓が大きく残量を確認する目盛がさらに見やすくなっています。
 ※取付フランジねじ込みの関係で、立ち上がりパイプ中心より半径115mm以上の円周スペースが必要となります。



型式一覧

型式	SAタイプ	SCタイプ	SGタイプ	LAタイプ
標準				
寸法	140(W)×113(D)×127.5(H)	105(W)×78(D)×146(H)	188(W)×137(D)×158(H)	188(W)×137(D)×158(H)
取付口径	32A~50A(1 $\frac{1}{4}$ B~2B)	32A~40A(1 $\frac{1}{4}$ B~1 $\frac{1}{2}$ B)	32A~50A(1 $\frac{1}{4}$ B~2B)	65A~100A(2 $\frac{1}{2}$ B~4B)

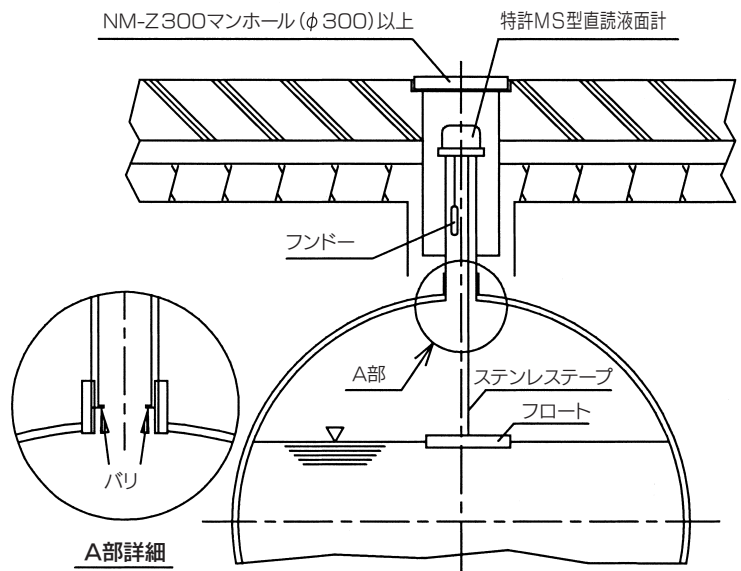
※H寸法は取付フランジを含めた数値です。

※対象液種
ガソリン、軽油、灯油、A重油、廃油

施工方法

※施工上の注意事項

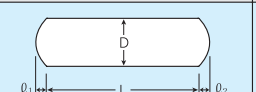
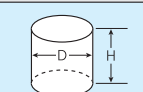
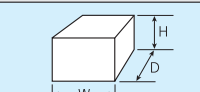
- 液面計を取り付ける立ち上りパイプがタンク内に下がっていないことを確認してください。
(ドロップパイプ仕様には、設置できません。)
- フロートテープやフロートの引っ掛かりおよび損傷を防ぐため、立ち上がりパイプの下部切り口のかえり、通称バリ(A部詳細)は取り除いてください。
- 新設の現場や改造によってマンホールの取替を行う現場に本液面計を設置する場合は、φ300以上のマンホールを使用してください。また立ち上がりパイプがマンホールのセンター付近になるように設置してください。
- 立ち上がりパイプ端面からGLまでは最低300mm以上のスペースを確保してください。スペースが無い場合は、マンホール蓋の裏面に液面計が当たり、損傷の原因となることがあります。



※ご不明な点は最寄りの当社支店・営業所へお問い合わせください。

ご注文の際は、下記事項をご指示ください。

■タンク寸法 下図に添ってタンク寸法をご指示願います。

円筒横置の場合	円筒タテ置の場合	角型の場合
直径D×胴長L×鏡の出(θ ₁ ・θ ₂)	直径D×高さH	タンク巾W×奥行D×高さH
		

■液面計取付口径サイズ サイズをご指示願います。

■液種(ガソリン、軽油、灯油、A重油、廃油)

※上記以外の他の液種へのご使用につきましては、最寄りの当社支店・営業所へお問い合わせください。

※左記以外の特殊タンクの場合、タンク図面を当社にご送付ください。そのタンクに合わせて製作いたします。

[SKKホームページ] <http://www.showa-kiki.co.jp>



信頼と技術で未来へ

昭和機器工業株式会社

■営業本部 / 〒152-0002 東京都目黒区目黒本町2丁目9-5 TEL.03-3716-5777(代表) FAX.03-3716-2384
■本社 / 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4丁目33-32 TEL.092-431-5131(代表) FAX.092-431-3851

東京支店 / TEL.03-3716-2391
横浜営業所 / TEL.045-301-9557
大宮営業所 / TEL.048-663-9775
名古屋支店 / TEL.052-411-7782

大阪支店 / TEL.06-6399-0515
札幌営業所 / TEL.011-812-9528
青森営業所 / TEL.0177-35-5222
仙台営業所 / TEL.022-239-6626

金沢営業所 / TEL.076-292-1612
岡山営業所 / TEL.086-243-3255
広島営業所 / TEL.082-237-9231
高松営業所 / TEL.087-834-7555

松山営業所 / TEL.089-958-9261
福岡支店 / TEL.092-431-1000
熊本営業所 / TEL.096-389-8010
鹿児島営業所 / TEL.099-252-5861

沖縄営業所 / TEL.098-878-6068
大宮工場 / TEL.048-663-9775
太宰府工場 / TEL.092-933-1775
福岡工場 / TEL.092-431-2398



注意

- 本製品の故障の発生を考慮して、事故や損害などに対する冗長設計などの安全設計ならびに安全対策をお願いいたします。
- 本製品の使用あるいは不具合に起因もしくは関連する直接的または間接的な損害、その他一切について責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 製品を安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。
- このカタログに掲載されている仕様・デザインなどは、予告なしに変更する場合があります。



Keep Ecology, Save Energy®
地球はエコロジー、テクノロジーはSKK

カタログNo.216 24C12C



JQA-QMA11772 JQA-EM5031
本社・福岡工場・太宰府工場